

# 平和の鐘

## 希望は私達を欺く事はありません

ローマ 5.5

カンダ・ケジェ・シルベストレ助祭



幟町教会の皆様、4月から助祭として、こちらの小教区に任命されたシルベスターです。

私は、ご存じのように、コンゴ民主共和国の出身で、淳心会に属しております。司祭になるために必要な教育、即ち、哲学、神学等はアフリカで学びました。

4年前、宣教活動をする為に、日本で働くという任命を受けました。その時から、ちゃんと文化や言葉の壁等の難しさについての自覚はしておりました。今よりもその当時は、いろいろな心配や戸惑いがあり、少し不安な気持ちもありました。なぜなら、先が見えなかったからです。ただ、その時から、自分自身に何か、一つの自信のようなものがありました。これからの知らない所は、自分よりも先に神様が居られます。「信頼を持って行きなさい。私は、あなたと共に居るからです」という声を聞きました。

現在、日本で4年目なのですがけれども、まだ分からない事がたくさんあります。でも、いつも神様は私と共に居てくださるという思いがあるので、笑顔で楽しい生活をしております。

皆様、現在は世界中でコロナパンデミックが広がっております。私達の生活も前よりだいぶ変わ

ってきており、悩みと苦しみを体験している方もますます増えています。そして、その影響は広がっており、そのことは教会でも感じております。多くの方々、弱い立場で、御ミサにあずかる事や教会とのつながりも段々少なくなってしまうております。

現在、いつ収まるのかという見通しは、とても、大変難しい事です。確かに、今後どうなるかという不安は私達に残っております。本当に複雑な問題だと思っております。それに対して、信者として、困難の内に、復活の喜びを保つために、どうすればいいでしょうか…。テサロニケの使徒にパウロが、こう言われます「兄弟、既に眠りについた人達については、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまないために、ぜひ次の事を知っておいて欲しい。イエスが死んで復活されたと、私達は信じています。」(テサロニケ 4、13)。皆様、私達は信者として、未来がある事、未来を信じる事を私達の希望であり、私達の特徴です。しばらく、苦しみや苦悩があっても、これを乗り越えて… という姿勢が良いのではないのでしょうか。なぜなら、苦しみの後に喜びや復活の光が見えるはずですから。

# コロナ禍の中で…

新型コロナウイルスの影響で、私たちの生活も大きく変わりました。  
3人に、これまでの様子や思いを寄稿していただきました。

## コロナ禍の中のミサと典礼と私

典礼部 SM

2月に幟町教会が最初に行ったコロナ対策は接触による感染リスク抑制のため聖堂入口の聖水中止と個人個人でのホスチアの子ボリウム投入と奉納の中止でした。

4月の聖週間は日本各地での集団感染発生時期と重なり、祝賀会の中止、ミサの時間短縮から聖歌隊や侍者、香部屋係、先唱者等の奉仕者のみの参加へと急激な規模縮小となり、ついには政府の緊急事態宣言を受け未曾有のミサ非公開へと続く激動の1週間となりました。

1カ月半のミサ完全非公開を経た5月31日のミサ再開に際しては、検温や手指のアルコール消毒、換気、大聖堂での入堂100人制限、社会的距離確保など安全対策が講じられています。

ミサの内容については、色々な制限がある中で「レベル2」段階でのミサ進行表を考えました。レベル3がミサ非公開、レベル0が通常ミサです。内容は、聖歌歌唱の中止、聖体拝領時に一人一人には「キリストの御からだ」とは言わず、拝領前に会衆全員に対し一斉に「キリストの御からだ」と言い、会衆が一斉に「アーメン」と唱える全体聖体拝領（いわゆる京都方式）の採用。「霊的聖体拝領の祈り」「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」の唱和等々。ミサ進行表は大聖堂に参列される方やYouTubeで視聴される信徒の方に主の死と復活の記念祭儀としての荘厳な

雰囲気をお伝えすることも大事ですが、典礼的な問題があってはならないということで、信徒の皆様をはじめ諸先輩はもとより荻神父様や白浜司教様から数々の有難いアドバイスとご指導を賜りながらより良いミサ進行を目指して、時には1週間、時には数日単位で改定に改定を重ねています。

有効なワクチンも開発されていない現状からこの状況は数年単位で続く恐れもありますが心配はご無用です。なぜなら我々の先輩は260年間もの苛烈な弾圧と迫害の中でも見事に信仰を守り通した方々です。私たちも心を一つにしてこの危機を乗り越えることができるよう祈り続けましょう。

## 恵みの器

RK

「えーっ！日本人に新型コロナウイルス感染者が出た！？」今年1月末に衝撃的なニュースが報じられて7か月余り。この記事を書いている時点（9月8日）で、ようやく「緩やかな下降」と分析されるようになりましたが、明確な収束の道筋は見えていません。幟町教会は約2か月間非公開ミサになり、5月末より再び公開ミサとなりました。それに伴って、現在は主日・祝祭日・金曜ミサの前後に様々な感染防止対策を講じています。人数管理、換気、マスク着用、名前・連絡先の記入、検温、手指のアルコール消毒、信徒席への週報配布、ミサ後の除菌掃除、その他細かな留意事項も実施しています。

私は検温を担当していますが、毎回緊張

感を持って「今が重要な局面」と自分に言い聞かせながら、またどの人にも「気持ちよく聖堂に入っていただけますように…」と心で祈りながら対応をさせてもらっています。

私はコロナ禍の中で、改めて自分を見つめ直すことが出来たように思います。それは久保神父様の講座で、神様の「恵みの器」について話を聞いた時のことでした。人間は神様の恵みを受け取る器であり、その器は自我で溢れさせるのではなく、出来る限り空けておくように、という内容だったと思います。心が揺さぶられました。現在のところ、教会でコロナ感染者が出ていないのは感染防止対策を徹底しているからだと思ひ、神様の深い恵みの導きを忘れていたのです。改めてコロナ禍の中で、神様の愛と慈しみのまなざしを感じさせていただいた気がしています。神様の恵みに満ちた器の中で、一人一人が生きていけたらなんと素晴らしいことでしょうか!!

一日も早く、新型コロナウイルス感染が終息し、再び聖堂にみんなが集まってミサに与れる日が来るのを心より待ち望んでいます。



## 一緒に御ミサに与れる日を願って

宣教企画部 HM

こんにちは。新型コロナウイルスによる様々な制限を強いられる毎日ですが、皆さんお変わりございませんか？

当たり前のように御ミサに与れ、皆様にお会いできた日々が、どれだけ幸せなことだったかを今思い知らされます。改めて、

その日々に感謝し、一日も早い終息を願っております。

私は宣教企画部を担当させていただいております。諸先輩の方々が、これまで様々な取り組みをされていたことも聞いており、私なりに、「宣教」について考え、どうすれば、この素晴らしい信仰を広めることができるか思いを巡らせながら活動しております。

待降節・四旬節の黙想会の企画、津和野巡礼の企画などが主な取り組みですが、今年はコロナウイルスの影響で、御ミサが非公開となったことがきっかけで、ライブ配信がスタートしましたので、そちらも担当しております。

御ミサを配信するという重責と、その大切な取り組みに携わらせていただけるという感謝をしながら、皆様とご一緒にミサに与ることが出来る日まで、今できること、どうすれば画面の向こうにいらっしゃる方に、同じ日、同じ場所で共に祈っていることを感じていただけるか、ただその思いで、毎週修正・工夫を試みながら行っております。その結果、一部音声聞き取りにくくなったりしていること申し訳ございません。

神父様はじめ皆様のご協力を得ながら、徐々にではありますが配信らしくなってきたとは思っておりますが、現在、スタッフがぎりぎりの人数です。もし映像に興味を持たれている方がいらっしゃいましたら大歓迎ですので、ぜひお声をお気軽にかけてください。

そして配信に限らず、宣教について熱い思いをお持ちの方の参加を心よりお待ちしております。

何よりも一日も早く、また皆様とお会いし大聖堂で一緒に御ミサに与れる日が来ることを祈っております。



# 子供ミサを再開しました



8月から毎月1回、子供ミサが行われるようになりました。すでに2回行われ、どちらも小学生から1歳半までの幼児、10名程度の参加がありました。子供たちの保護者とその他で20名近くの参加があり、賑わいを見せました。久保神父様が司式し、「子供たちがどんなに暴れていても、どんなに騒いでも、走っても良い。祈りに集中できなくても、それが神様のお家で暴れているなら、神様の腕の中で暴れているのと同じだから」と説教をしていただきました。ミサの後は換気をしたマリアホール内で、自分達で握るおにぎりを食べ、くじ引きゲームも行った。新型コロナウイルスで自粛生活の中とても楽しい日となりました。子供ミサは毎月第一土曜日、10時から行われています。子供がいるご家庭はぜひ参加してみたいかがでしょうか。



9月6日 信徒大会



9月13日  
病者の塗油



## 編集後記

昨シーズンの冬から始まったマスク生活、皆さん慣れましたか？この夏、より快適にとあれこれ試していました。今度は冬に向けて、どのような機能性マスクが出てくるのか楽しみです。新型コロナウイルスとインフルエンザの予防には、マスク着用と手洗いを忘れずに！（な）

## カトリック幟町教会

〒730-0016 広島市中区幟町4番42号  
 電話 082-221-0621  
 ファクス 082-221-8486  
 ホームページ <http://noboricho.catholic.hiroshima.jp>



## ミサの時間

日曜日 7:30、9:30、14:30～(英語)  
 第1日曜日 15:00(ポルトガル語)  
 第4日曜日 11:30(ベトナム語)  
 月の最後の日曜日 17:00(スペイン語)  
 平日 7:00 金曜日 7:00、10:00  
 土曜日 7:00、18:00(主日)

主任司祭 萩 喜代治 神父  
 助任司祭 久保 祐己 神父

助祭 カンダ・ケジェ・シルベストレ 助祭  
 シスター 小野島照子(援助修道会)